

県道占用許可申請書等チェックリスト

年 月 日

項 目	内 容	確 認	局 欄
表 紙	新規・変更等を選択する。		
	路線名を記入し、車道・歩道等を選択する。		
	占用場所は申請場所(道路)の地番を記入。地番がない場合は、最寄りの地番を記入する。		
	占用目的を記入する。		
	占用物件は給水管、鞘管とも記入する。		
	工事期間は原則として『許可の日から90日以内に着工し、工事は2日間』。若しくは、必要な日数を記入する。		
	工事方法を選択若しくは記入する(開削・一部推進等)。		
	掘削する延長・幅・面積を、車道、歩道等の別に記入する。		
	備考欄に競合する工事等、必要事項を記入する。		
	施工事業者名を記入する。		
添 付 書 類	位置図(1/2500又は住宅地図等)に占用箇所を赤色で記入する。		
	実測平面図(1/100程度)		
	縦・横断図(1/10～1/50程度)		
	工作物構造図(必要に応じて)		
	上記図面に官民界を赤色で明示し、申請物件を赤色で着色する。又、道路幅員、水路幅・深さ及び構造物寸法、配水本管位置(破線で記入)・分岐管・鞘管の管種・埋設深さが表示されているか。		
	仮復旧厚については、歩道3cm、車道5cmとなっているか。使用材料の表示はあるか。本復旧は指示があるので記入しない。		
	占用面積計算書を記入又は、添付されているか。		
	公図写しに、申請箇所を赤で記入してあるか。		
	写真は複数箇所より撮影し、配水本管を破線で、申請箇所を赤色の実線で記入する。又、撮影箇所を位置図又は別図等に記入する。		
推 進 工 法 の 場 合	側溝等の構造物の下を推進工法で施工する場合、施工図及び施工方法を記入する。抉り掘りになっていないか。		
	地山の保護のため構造物の横は、50cmの余地を空けて掘削を行う。		
開 削 工 法 の 場 合	復旧する構造物がある場合、その構造図及び施工方法を記入する。		

施工事業者名

担当者

電話番号